



神奈川県厚木市役所様

「災害時対応無線通信機器として」

神奈川県中央部に位置する人口22万人超の特別市である厚木市様が、当社の多機能緊急災害情報無線機「ハザードトーク（モデルHT906）」を導入されました。



市庁舎

●御導入いただいた“ハザードトーク” HT906



- ✓ **デューズ DEWS**
緊急災害情報受信サービス
- ✓ **HAZARD PHOTOS**
写真・動画共有サービス
- ✓ **050 plus for biz**

050番号にて外線発着信出来るサービス
050 plus for BizはNTTコミュニケーションズのサービス、商標です。

●導入理由

使用に際して許可も申請も不要で通常時にも緊急時にも使えるような無線機を探していた。そのときに出会ったハザードトークの機能として災害時に使える機能を持ったことに着目しました。そして、音声通信に関しては

- ①クリアな音質
- ②一斉同報・グループ通話
- ③県内外を問わずどこでも通信範囲

さらに災害時にその機能に期待できる、“画像共有システム（ハザードフォトス）”にも期待しました。



防災機器管理板の前でメンバーに連絡

●市長室危機管理課防災・危機管理係 戸井田副主幹



Q & A

Q 今迄の通信手段の課題はどんな点がありましたか？

A 山間部やビルなどの室内での通信が不安定で市内全域をカバーできていなかった。

Q 今回 何プランで、何台ご利用ですか？

A フリートーク 55台、 マスタープラン 10台です。

Q どんなご利用方法を想定されていますか？

A 市内全域をカバーし、画像共有システムを使用することで災害対策本部内で災害現場の状況をリアルタイムで確認し、スピード感ある災害対応が可能になることを期待しています。

◆ハザードトーク 65 台をご導入頂いた『厚木市役所様』が新聞で紹介されました。

神 奈 川 新 聞

2017年（平成29年）7月27日 木曜日

厚木 台風シーズンを前に厚木市は7月、携帯型緊急災害用無線機を更新した。災害現場から写真や動画が送信できる機能が追加されたのが特徴。

写真や動画送信 新型無線機導入

市によると、新型機は縦12センチ横6センチ厚さ2センチ、現行のMCA無線機より一回り小さく軽量。災害時でもつながりやすいデータ帯域での通話が可能。現場の位置情報を地図情

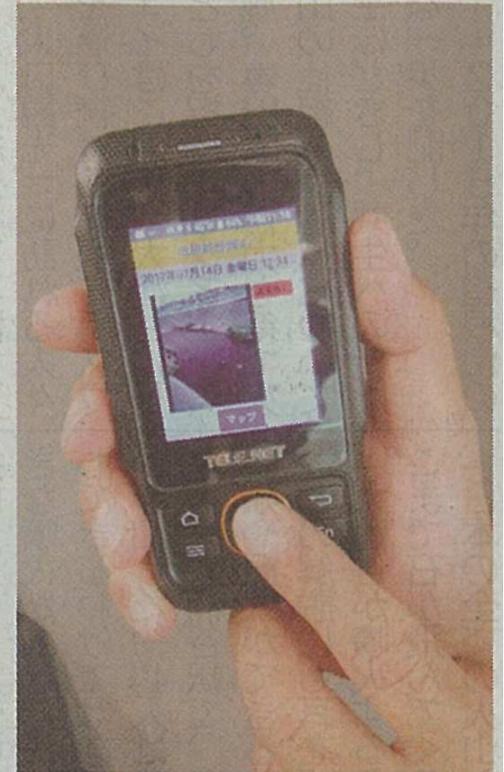
被災状況リアルタイムに

報システムに転送でき、災害対策本部内の大型モニターで被災状況をリアルタイムで確認、共有できる。

今回、2200万円の費用で5年間のリース方式で65台導入。危機管理課や消防本部、道路対策部などに配備して情報収集やパトロールの際に活用する。

MCA無線機は受信感度の低い地域があり、山間部を含めて市内全域をカバーする機種更新が課題になっていた。新型機の導入は県内では初めてという。

（山口 譲一）



現場映像も送信できる
新型無線機